

1ドル 150 円も見えてきたドル円相場

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

米国の高金利政策がしばらく続く可能性が高まった

円安ドル高の動きが止まらない。ドル円を一段の円安へと向かわせたのは、発表された2つの米国の9月の経済指標(9月の米雇用統計、9月の米CPI)である。9月の経済指標から示されたものは、雇用が必要以上に強すぎる、物価高が沈静化していない、という高金利政策の継続を支援する材料であった。人手不足が深刻化している、低所得者を中心に物価高に苦しんでいる、というのが現状の米国経済である。9月の米CPIではインフレは高止まりしているだけでなく、より広範囲に及び始めていることが確認され、金融市場の関係者の間では、米国の高金利政策はしばらく積極姿勢が続く可能性が高いことが印象付けられた。

金利の見通し

米国の政策金利の見通しについては、ベースシナリオとしては、11月に+0.75%、12月に+0.5%、来年2月に+0.25%の引き上げを想定している。このベースシナリオに対し、より積極的なシナリオについてみていきたい。流石に12月に+1.00%の引き上げはないとみているが、しかしながら、今後の経済指標(10月の米雇用統計、米CPI)にて、低下が確認できなくなると、12月に再度+0.75%の引き上げ、あるいは12月に+0.5%に留め、来年1月に+0.5%引き上げが視野に入ってくる。そうなると、ドル円は1ドル150円台となる可能性が高くなっていくといえよう。

東京市場マーケットデータ

2022/10/14 現在

日経平均	2万7090円
プライム売買代金	3兆2061億円
プライム時価総額	683兆8996億円
日経平均予想 PER	12.5倍
日経平均 PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

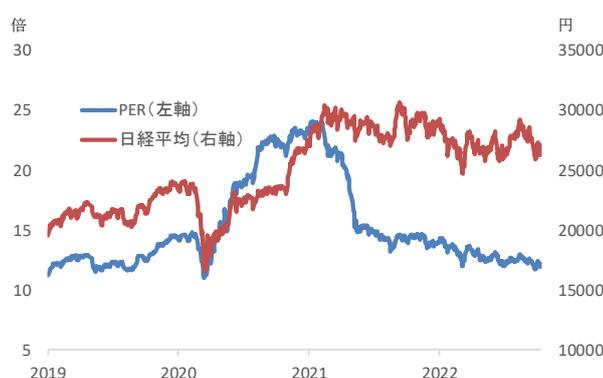
2022/10/14 現在

株価前日比

1 レーザーテック	2.2%
2 ファーストリテイリング	8.4%
3 ソフトバンクグループ	3.3%
4 東京エレクトロン	2.5%
5 トヨタ	1.2%
6 ソニーグループ	4.2%
7 任天堂	2.3%
8 三菱 UFJFG	2.0%
9 日本郵船	1.6%
10 キーエンス	1.8%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa